

第1章 清掃事業

本市は、令和2年3月に「誰もが住みたい 安らぎと活力にあふれるまち 北茨城～すべての人が輝き、幸せを実感できるまちを目指して～」を将来都市像とする、令和2年度から10年間のまちづくりの目標となる第5次北茨城市総合計画を策定しました。

今回の総合計画は、市民の皆様が将来に夢と希望を持ち、誰もが豊かな暮らしを実現できる、明るい将来を展望した計画としており、「みんなで考え、みんなで創るまちづくり」、「誰もが安心してずっと住み続けたいまちづくり」、「誰もが誇りと元気にあふれる活力あるまちづくり」の3つを基本理念に、将来都市像実現のための6つの基本目標を掲げております。

清掃事業は、基本目標のひとつである「人と自然が元気な潤いのあるまち（自然環境・生活環境）」の重要な施策であり、この事業を進めることにより生活環境の向上を図るものであります。

(1) 一般廃棄物処理基本計画の概要

① ごみ処理基本計画

《基本方針》

・ごみの発生段階について

ごみの発生抑制をごみ処理行政の最重要課題として位置づけ、取り組みを推進する。

・資源の収集・リサイクルについて

循環型社会形成推進基本法をはじめとする各リサイクル法に沿って、確実かつ効率的な資源の収集・資源化システムを構築する。

・ごみの処理・処分について

最終的な不要物について、環境への負荷が少なくなるよう、適切かつ効率的な処理・処分体制を確保する。

② し尿・汚泥処理基本計画

《基本方針》

し尿・汚泥に係る基本方針については、できる限り排出量を削減し、収集・運搬の効率化を図るとともに、環境に悪影響を与えないように最終処分を行う。

また、今後のし尿及び浄化槽汚泥の処理については、現状どおり北茨城市環境センターで行う。

(2) 清掃事業年表

表 1-2-1 清掃事業年表

年 度	一 般 廃 棄 物 関 係
昭和 33 年度	・ ごみ収集車購入により収集開始
昭和 42 年度	・ 磯原町上相田に処理量 20 t/日のごみ焼却場ができる
昭和 54 年度	・ 清掃センター 60 t/8h (30 t×2 基) が完成し稼働を開始するし、上相田の焼却場は閉鎖 ・ 資源物収集の開始
昭和 59 年度	・ 環境センター100kl/日が完成し稼働を開始する。
平成元年度	・ 圧縮処理施設 (アルミ・スチール) 8 t/8h 完成
平成 4 年度	・ 生ごみ処理容器購入補助金制度開始
平成 9 年度	・ もやせるごみ収集業務市内全域委託業務に移行 ・ 生活排水処理基本計画策定
平成 11 年度	・ 透明、半透明ごみ袋収集の開始 ・ 埋立ごみ収集を月 2 回から週 1 回へと収集強化
平成 12 年度	・ 一般廃棄物処理基本計画策定
平成 13 年度	・ ごみ処理手数料を改正、新たに運搬手数料 (エアコン・テレビ・冷蔵庫・洗濯機) を加える ・ 電動式生ごみ処理機購入者への補助金交付開始 ・ 平成 13,14 年度の 2 ヶ年継続事業で排ガス高度処理・灰固形化処理施設等の基幹改良工事に着手
平成 14 年度	・ ごみ処理手数料全面改正、新たに搬入手数を加える ・ 平成 13,14 年度の 2 ヶ年継続事業で排ガス高度処理・灰固形化処理施設等の基幹改良工事が完了
平成 15 年度	・ 指定ごみ袋等による有料化の開始 ・ 廃乾電池の委託処理開始 ・ 蛍光灯破砕機を導入し処理を開始
平成 16 年度	・ ペットボトル、びん類の資源物収集の開始 ・ 発泡スチロール処理機を導入し処理を開始
平成 17 年度	・ 平成 17 年 9 月 31 日ニッ島住宅団地汚水処理施設が廃止される (平成 17 年 10 月 1 日より下水道一部供用開始に伴い)
平成 18 年度	・ 平成 19 年 3 月 28 日ニッ島住宅団地汚水処理施設建屋の解体工事終了
平成 21 年度	・ 平成 21 年 9 月より試験的にレアメタルの回収事業を開始
平成 25 年度	・ 平成 25 年 4 月より使用済み小型家電品改修を開始 (10 品目)
平成 26 年度	・ 環境基本条例の制定、環境基本計画の策定 ・ 生活排水処理基本計画の見直し ・ 北茨城市環境施設等整備検討審議会「焼却炉更新が必要」との具申
平成 30 年度	・ 高萩市と共同での広域ごみ処理施設建設を決定 ・ 一般廃棄物処理基本計画改定
令和 3 年度	・ 広域ごみ処理施設建設工事着工

(3) 清掃事業に係る経費

① 令和2年度の清掃事業に関する決算額

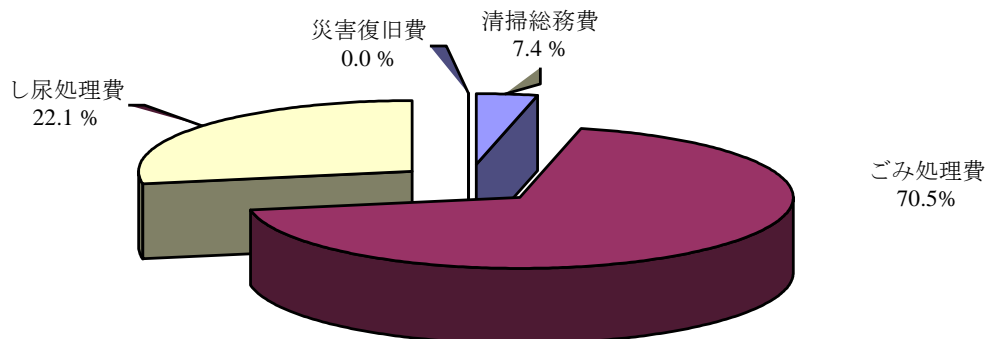


図1-3-1 令和2年度 清掃事業決算額割合

② 年度別の清掃事業に関する決算額

表 1-3-1 清掃事業決算額の経年変化

(単位：千円)

年度		H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
一般会計	清掃総務費	52,840	58,570	45,918	43,570	46,919	48,018	23,051
	ごみ処理費	453,778	514,590	476,334	430,303	670,406	452,292	449,259
	し尿処理費	160,127	162,796	225,193	250,457	218,472	174,409	181,237
	清掃施設災害復旧費	-	-	-	-	-	-	-
	計	666,745	735,956	747,445	724,330	935,797	674,719	653,547

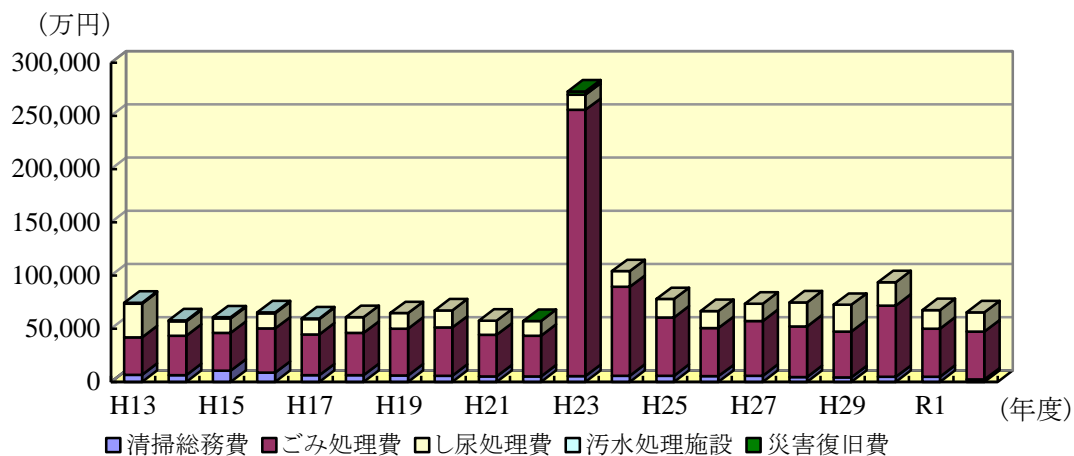


図1-3-2 年度別の清掃事業決算額

※平成 23、24、25 年度のごみ処理費には、東日本大震災による瓦礫処理費等が含まれている。

※平成 30 年度のごみ処理費には、煙突工事費が含まれている。